

2018年度 富山県社会福祉士会 7月期理事会議事録

- 【日 時】 平成30年7月11日(水) 19:15~21:10
- 【場 所】 サンフォルテ 302号室
- 【出席者】 代表理事: 根津 敦
副会長: 酒井 誠
理 事: 相山 馨 高木 正樹 萩原 美紀子 岩崎 久憲
 北滝 めぐみ 中山 光明 石坂 留美 (計9名)
監 事: 野村 幸伸 (計1名)
- 【欠席者】 副会長: 清水 剛志 監事: 穴倉 明子
- 【事務局】 金本 聖子

<議事内容>

1 開会あいさつ 根津会長

- (出席者確認) 出席者9名、定款第41条により理事の過半数の出席を確認
(議事録署名人) 根津会長、石坂理事

2 報告事項

(1) 2018年度都道府県社会福祉士会長会議テーマ提案について

根津会長より、7月9日「連合体運営についての民営化」「研修制度の“廃止”を含めた改編」の2テーマを提案したと報告した。

(2) 2018年度日本社会福祉士会第31回総会について

根津会長より、6月16日に出席した公益法人日本社会福祉士会第31回通常総会の内容について報告した。

- ・佐賀県成年後見事業不祥事
- ・全国の連合体における第三者委員会立上げの検討
- ・正副会長による47都道府県訪問状況

(3) 2018年度都道府県ぱあとなあ連絡協議会について

酒井副会長より資料にもとづき、5月26日から27日にかけてぱあとなあ富山後平智孝氏が出席し、復命書が提出されたと報告した。また、富山家庭裁判所ではぱあとなあ富山との協議を開催しており、次回から弁護士会、リーガルサポートも加わり4者による協議予定と報告した。

(4) 謝金規程の運用について

石坂理事より資料にもとづき、今年度からの運用について報告した。

3 協議事項

(1) 組織改編検討委員会(仮称)について

根津会長より今年度立上げの組織改編検討委員会について、7月6日に過去の役員に就任依頼をしていることや今後のスケジュールを説明した。就任依頼は7月17日までとしており、現在5名の承諾がある。資料にもとづき、委員会の進め方を協議し、次の意見が出された。

- ・この委員会に現在の役員は入らない予定であるが、現状の報告などやとりまとめ部分をどの

ように進めていく予定なのか。

→初回は根津会長が出席し現状説明などを行い、必要に応じて事務局等からの説明も対応していきたい。

・委員になっていただく方も多忙であり、何回も集まることが負担と考えられる。委員の理解と協力があればスカイプ等を利用し、交通費の抑制も図れると良い。

・この委員会の設置規程や進め方、委員への謝金などを理事に諮り進めていくのが良い。

→根津会長が規程等を準備し、理事等に確認し進めていく。

(2) 旅費規程について

金本事務局員より出張旅費について、規程にもとづき支給されることが良いのではないかと提案があった。現在は実費支給としており、規定は謝金規程のみのため今後検討課題とするが当面は現状どおり運用することとした。

(3) 2018年度全国統一模試試験の開催について

石坂理事より資料にもとづき、実施予定を説明した。昨年からの変更点は大きく次の4点。受講者確認の煩雑さや受講者の負担を考慮し、①受講申込みはメールによるものを止めFAX及び郵送とする。②受講料を当日払いとする。③受験票は当日配布する。昨年国家試験の受験料値上げがあったことから、模擬試験受講料は主に学生が受講することを考慮し、昨年より値下げし4,000円とする。但し、郵送希望者は郵送相当分として郵送手数料500円追加と設定する。

変更点について了承され、7月下旬に会員及び社会福祉士養成校へ案内することが確認された。

(4) 北陸ブロック三県会議の協議題について

根津会長より資料にもとづき、参加者は根津会長、酒井副会長、高木理事、金本事務局員の4名、議題4件①2019年度基礎研修連携体制②スーパービジョンの実施状況及び現時点での課題点等③認定社会福祉士、認証研修実施（または準備）状況④成年後見人材育成研修を報告済みと説明し、次の意見が出された。

・①2019年度基礎研修連携体制について、富山県としては基礎研修Ⅲの単独開催は困難なため、会員の要望に応えるためにも3県による継続実施を要望する。

・全国レベルでは全都道府県で同一レベルの基礎研修を実施することは困難なため廃止の声がある。また、研修受講事務は全国同様のため日本で担当してもらいたいという意見もある。

・②スーパービジョン実施体制について、富山県ではスーパービジョンの連絡体制を整備済みであるがパイザーの実施体制を確認中であり、個々のパイザーの体制が整い次第実施可能と考えている。

出された意見は、北陸ブロック三県会議にて提出することが確認された。

(5) 社会福祉士賠償責任保険制度（都道府県社会福祉士会専用）について

金本事務局員より資料にもとづき、役員と事務局の活動に対する保険制度（Bプラン）の加入について説明があった。全国の23県が加入し、福井、石川も加入済み。金額も低料金であることから今後加入していくことを確認した。

(6) 広報誌発行について

根津会長より7月下旬発行予定であった鱒おこしについて、原稿の提出状況が少ないため今回の発行を見送ることを説明した。今後の広報誌の発行と当面の対応を協議し、次のような意見が出され、対応していくことを確認した。

・広報誌は財政面からカラー刷りを止める。品質管理面から現在の印刷業者を変更する。

- ・広報誌に掲載している案内等は、かわら版やニューズレター、各委員会からのお知らせとして発行することも良い。
- ・今回は、統一模試実施要項、ソーシャルワーカーデー、自殺予防研修、ソーシャルワーカー委員会からのお知らせを来週発送とする。

(7) 富山県福祉サービス運営適正化委員会委員推薦者について

根津会長より資料にもとづき、富山県福祉サービス運営適正化委員会委員について当会柴田前会長の後任人選について説明した。委員会からの学識経験者の要望を考慮し、相山理事の推薦を確認し、承認された。

(8) 富山県社会福祉大会提出来年度社会福祉制度・予算等について

根津会長より資料にもとづき、富山県社会福祉協議会より要望事項提出の依頼があったことを説明し、意見等あれば根津会長または事務局へ報告することを確認した。

(9) 会長とカレーを食べよう企画について

根津会長より、今後会員との交流企画を検討していきたいと提案がされた。

4 連絡事項

(1) 理事役員の連絡先配布

(2) 2018年度「介護の日」in とやま実行委員会

中山理事より資料にもとづき、実行委員会の進捗状況を報告した。11月11日(日)10:30~16:00に開催、社会福祉士会は相談コーナーを担当し、ぱあとなあ富山江上昌子氏が対応予定。イベントの詳細は今後決定していく。

(3) ソーシャルワーカーデー 2018in とやま

金本事務局員より他県事務局より、ワーカーデーにおける西日本豪雨災害の募金活動の有無について問合せがあることを報告した。富山県では募金活動をしないことを確認した。


5 その他

開催時間の都合により、必要な事項はメール等とすることを確認した。

本議事録のとおり相違ありません。

平成30年7月11日

議長

根津 敦 

署名人

石坂 留美 